

秋田で実現!しなやかでやわらかい働き方

人生のステージに合わせて専門領域をベースに広い生涯スキル獲得を支援

急性期から回復期までの

脳卒中・循環器診療をとおして総合診療へ

設備が整った病院で、優秀なコメディカルといっしょにゆっくり再スタート

産休・育休など休職からの復帰支援

単身赴任や複数拠点勤務も可能!働き方を変えてさらに視野を広げる

週4日勤務で、自由に使える年150日

スマホでアクセス!

特設
動画
サイト



検索

秋田県立 医師 働きやすい病院

医師人生のステージに合わせて専門領域をベースに広い生涯スキル獲得を支援 医師として長く活躍できる能力を身につける3つのプラン



医師人生のステージにあわせた 3つのプラン

当センターでは代表的なものとして、先生方の医師人生のステージに合わせて「脳卒中診療を通じて行う総合的な医師の能力開発プラン」「急性期脳卒中を中心に学ぶプラン」「広くゆっくり循環器内科領域の診療を経験するプラン」の3つのプランをご準備しています。

これらのプランに限らず、年代や専門医取得後のキャリアアップに合わせて選択が可能です。30-40歳台では急性期を中心に専門医としての技術を広く学ぶことが重要視されがちです。いっぽう50-60歳台では専門医の能力を生かしながら、回復期から維持期の治療を行い、総合診療のスキルを充実させていくような方向性の中で、自分の健康や時間も大事にしている方はい多いのではないのでしょうか。

当センターの中心である循環器内科や脳神経外科は激務で知られた診療科です。現在、かつて選択した診療科を後悔していませんか？当センターでは激務とされる診療科であっても、今までの専門性を生かしながら、ゆっくりとした仕事と生活を実現できる場を作りたいと考え、様々なプランと働き方のモデルをご案内しています。

年齢が上がると専門領域のプレイヤーとしての経験は深まるのですが、根気や体力などプレイヤーとしての資質の一部は低下します。またゲームチェンジャーのような新しい技術の変革が起こると、その領域にアップデートしていくのは難しいことも少なくありません。しかしこれまでのプレイヤーの経験は、チーム医療のコンダクターやマネージャーとして大いに役立ちます。また専門領域周辺のいろいろな問題は、これまでの専門性を生かしながらも、急性期とは違いゆっくり時間をかけて解決していくことができますので、あなたのライフスタイルを損なうものではありません。

しなやかでやわらかい働き方を手に入れる

いろいろな価値観はあると思いますが、しなやかでやわらかい働き方が求められている時代です。それにはフレキシブルな勤務形態が必要ですが、柔軟に対応できるようにいたします。

例えば、家庭も大事にするために、常勤扱いで一部夜間業務を含めながら週4日勤務にすることも可能です。単身赴任となっても家族と過ごす時間を確保できます。簡単にいって150日の病院外での時間を作れます。また働き方改革の制約はありますが、今働いている病院でもある程度の時間勤務するなど、現在の職場でも持続的に活躍できるようお手伝いいたします。また、子育てが終わっている世代であれば、ご家族とご一緒に秋田でゆったりした生活を満喫していただくのもおすすめです。

既に専門領域をある程度獲得された先生方にとって、研修医とは違ってすべての領域で手取り足取り教育を受けるプログラムというものが必要なわけではありません。自分で勉強しながら、耳学問である程度教わりながら、また必要な知識は周りのコメディカルが持っていたりもしますので、それらを引き出しながら能力の獲得・回復が可能です。いろいろな立場によって必要とされる援助は異なるので、個々に合わせた柔軟な実務支援を提供します。

Plan 1

脳卒中診療を通じて行う総合的な医師の能力開発プラン

専門性
不問

急性期対応も含めますが、主にリハビリテーションや生活習慣病治療を含めた回復期管理、多職種医療チームとの協同、介護・社会資源の利用までを広く経験し、これからの時代に切実に必要とされる総合診療の能力を獲得できます。

例えば1年から2年で脳卒中を取り巻くコモンディーズの治療と管理を学び、病院総合医としての能力・資格を身につけることができます。もちろんスタッフ希望のドクターは大歓迎です。

これまでの専門性は不問です。脳卒中では病期・病態による時間軸が異なりますが、このプロセスを経験することで、生涯にわたって応用可能な知識と対応が身につきます。

Plan 2

急性期脳卒中を中心に学ぶプラン

経験値
アップ

専門医取得はしたものの、経験数の少なさと適切な教育をうけられないことにお悩みではありませんか。指導のノウハウを熟知した良い指導者のもとで学ぶことが技術の向上には特に重要です。

希望に応じ、血管内治療・手術治療・薬物治療・画像診断など、必要とされる急性期対応を経験豊富な指導者たちのもとで学ぶことができます。

Plan 3

広くゆっくり循環器内科領域の診療を経験するプラン

スキル
習得

循環器内科は激務の診療科とは限りません。当センターでは、幅広い疾患や病態と、高度な検査から深く症例を掘り下げて経験することができます。

これから到来する心不全の時代に必要とされるスキルを身につけることができます。

必見！院長メッセージ

院長の考えるこれからの医師のライフプラン

当センターはドクターのための乗り合いバス



病院長 石川 達哉

秋田県立循環器・脳脊髄センター、病院長の石川達哉です。

脳神経外科医で10年くらい前までは脳卒中の外科治療の分野で、24時間365日一生懸命やってきました。私自身、50歳を超えたところで集中力、体力、根気の低下を経験し、専門性が持つ限界にぶつかることになりました。東日本大震災をきっかけに病院の運営など周りをサポートする立場にまわり、徐々に医師としての役割を無理のない形に切り替えることができました。今まで脳外科で培ってきたキャリアやスキルは決して無駄ではなく、病院経営や他の分野で患者の治療やリスク管理などに応用できています。

今回、脳卒中と循環器の分野で専門性の枠を越え急性期から回復期・慢性期まで診てくれる医師を募集しています。私は当センターを目的地が同じではなくてもいろいろな目的を持った医師が集う「乗り合いバス」のようなものだと考えています。人によって、疲れたときに乗るバス、知り合いや友達を得るバス、運転技術を磨くためのバス、人によって目的は様々であって構いません。当センターをそのような「乗り合いバス」として使ってください。

最終的には自分の人生は自分のものです。当センターのフレキシブルな勤務形態をご利用いただき、秋田に縁のある方もそうでない方も、しなやかでやわらかい働き方をすることで、充実した人生のステージを手に入れていただけると確信しています。

特設
動画
サイト

詳しく動画でご紹介しています

<https://www.akita-hos.or.jp/recruit/lp/>





Q 当センターの歴史について教えてください



Q キャリアアップの目的について教えてください



雇用の基本に



理事長メッセージ

専門の垣根を越えた医療こそが求められています

皆さんをお迎えするハード面はすべて整っています



理事長
鈴木 明文

2009年4月、秋田県立脳血管研究センターと秋田県立リハビリテーション・精神医療センターは、地方独立行政法人秋田県立病院機構が運営する病院として再出発しました。脳研センターは「脳卒中撲滅」という県民の強い願いを背景に、開設当初から24時間365日体制で診療を行い、脳卒中の研究と有効な治療法の開発にも全力を注ぎました。その後、対応する疾患を脳神経疾患全般、さらに循環器疾患へ広げ、リハビリテーション医療の充実も行いました。循環器医療については2015年4月から不整脈のカテーテル治療が可能となり、2019年1月から虚血性心疾患のカテーテル治療も可能になりました。2019年3月には98床脳心血管病診療棟を新たにオープンし、脳と循環器の包括的な医療の提供を始めました。

高齢化の進展に伴い脳にも循環器にも病気を持つ県民が増えています。その対策として、最新の機器も導入した新たな診療棟において脳神経の専門区と循環器の専門区が共同で包括的な医療を提供することが不可欠となりました。

今回、急性期から回復期、回復期から維持期、あるいは急性期から維持期までというそれぞれの役割をご相談のうえ、先生方お一人お一人のご都合に合わせてフレキシブルな勤務体系で当センターへお越しいただきたいと考えています。我々がしっかりサポートいたしますので安心してぜひご相談ください。

充実の設備と環境の秋田県立病院機構



ハイブリッド手術室1



ハイブリッド手術室2



手術室2



CT



MR I



PETCT



SPECT

～安心して仕事復帰～

設備が整った病院で、優秀なコメディカルといっしょにゆっくり再スタート

産休や育休など休職からの復帰支援

産休や育休からの復帰支援プログラムとは？

産前産後休暇や育児休暇を取得中の医師のみなさんが安心して仕事復帰できるよう、当センター一丸となって支援いたします。家庭との両立を含め、ご負担にならないような勤務体系で、まずはゆっくりと再スタートされてはいかがでしょうか？不安を限りなく払拭し、安心して勤務いただくための復帰支援をいたします。まずはご希望などお聞かせください。

単身赴任や複数拠点勤務も可能！働き方を変えてさらに視野を広げる

週4日勤務で、自由に使える年150日

多様な働き方を実現できる

フレキシブルな勤務体系により、自分の時間が得られることで今まで叶わなかった自己研鑽や家庭との両立などが可能です。多様さが求められる時代だからこそ実現できた多様性のある医師の新しい働き方がここにあります。

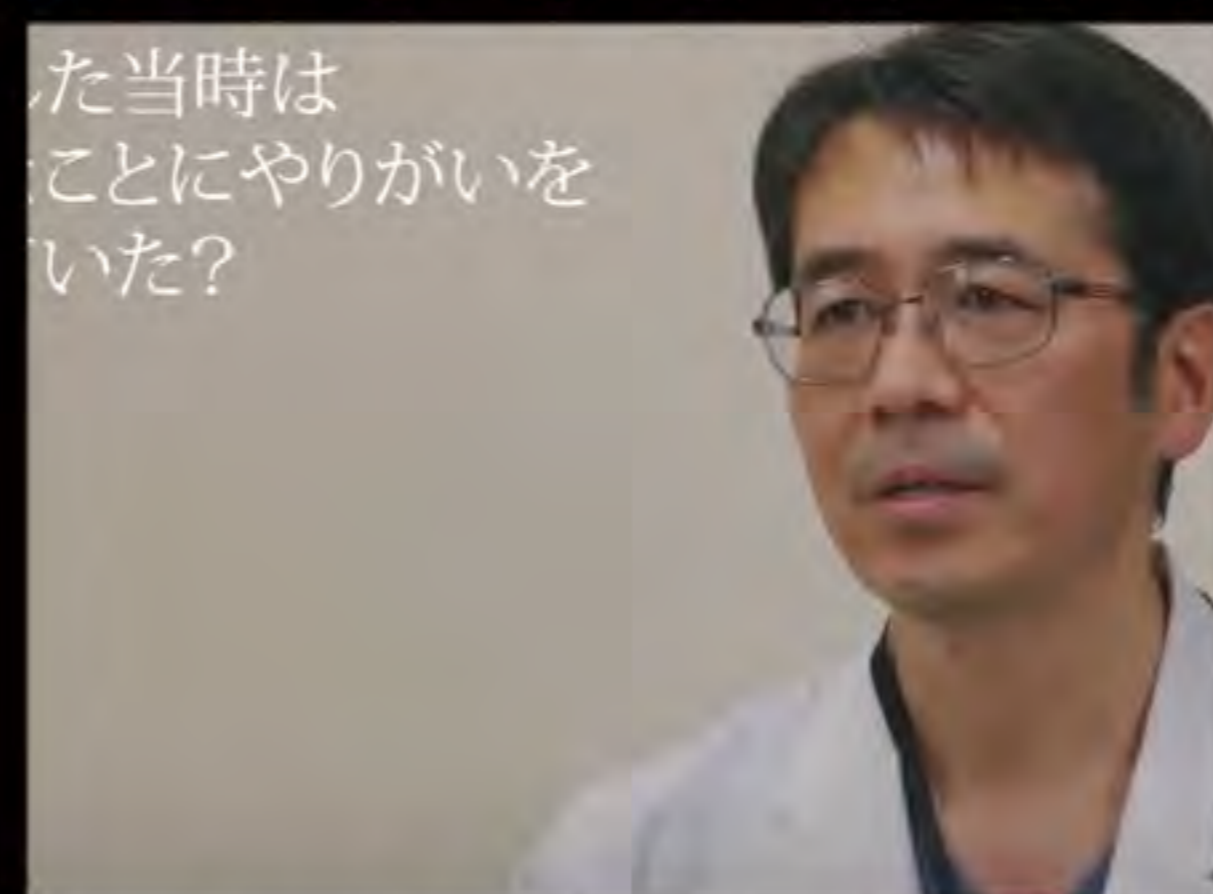


詳しく動画でご紹介しています

<https://www.akita-hos.or.jp/recruit/lp/>



Q 当センターで働く
やりがいを教えてください



た当時は
ことにやりがいを
いた？

Q 子どもたちの教育環境を
教えてください



医師の構成

	出身大学	卒業年	所属
西野 京子	秋田大学	1980	麻酔科診療部（部長）
石川 達哉	北海道大学	1984	脳神経外科診療部（病院長）
木下 俊文	北海道大学	1986	放射線科診療部（副病院長）
菅原 卓	秋田大学	1989	脊髄脊椎外科診療部（副病院長）
木下 富美子	鳥取大学	1990	放射線科診療部
師井 淳太	山口大学	1992	脳神経外科診療部（副病院長）
宮田 元	鳥取大学	1992	臨床病理部（部長）
作左部 昇	金沢大学	1992	総合診療部（整形外科）
佐々木 正弘	自治医科大学	1993	リハビリテーション科診療部（副病院長）
河合 秀哉	福井医科大学	1993	脳神経外科診療部
酒井 彰	秋田大学	1994	麻酔科診療部（部長）
田村 晋也	秋田大学	1999	脊髄脊椎外科診療部
東山 巨樹	秋田大学	2000	脊髄脊椎外科診療部（部長）
古谷 伸春	杏林大学	2003	脳神経外科診療部
篠原 祐樹	鳥取大学	2003	放射線科診療部
武藤 達士	神戸大学	2004	脳神経外科診療部（部長）
山崎 大輔	秋田大学	2007	循環器内科診療部（部長）
土井尻 遼介	岩手医科大学	2007	脳卒中診療部（脳血管内科）
富樫 俊太郎	秋田大学	2011	脳神経外科診療部
境 梨沙	弘前大学	2012	リハビリテーション科診療部
吉田 泰之	島根大学	2013	脳神経外科診療部
濱崎 亮	秋田大学	2013	脳神経外科診療部
桑山 実喜子	岐阜大学	2017	脳神経外科診療部

職員数

（循環器・脳脊髄センター：2024.4.1時点）

医師(正)	23	臨床心理士(正)	1	事務補助	20
看護師(正)	192	管理栄養士(正)	3	夜勤事務	2
研究員	6	医療相談員(正)	3	運転・外構管理	1
理学療法士(正)	24	技能技師(滅菌)(正)	1	業務補助	2
作業療法士(正)	20	事務(正)	18		
薬剤師(正)	13	研究補助	3	合計	400
診療放射線技師(正)	16	看護師(任)	5		
臨床検査技師(正)	8	医師事務作業補助	7		
臨床工学技士(正)	7	看護補助	9		
言語聴覚士(正)	6	医事会計事務	10		

募集の内容

募集科目 脳・循環器疾患の急性期から回復期まで（あるいはその一部）の診療を希望される方、当センターでの勤務を希望される方

勤務日数 週31時間以上から希望に応じて対応
（一部夜間勤務を含む場合等の条件があります）

雇用形態 任期なし職員（正職員）※秋田県立病院機構の正職員として採用
※働き方改革等の都合で一部調整になる場合があります

待遇と福利厚生について

給与など

1 給与・手当（条件により年俸制対応もあり）

当機構の職員給与規程に基づき経歴等を勘案のうえ決定されます。

このほか、給料の調整額、諸手当（扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当等）がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。

2 昇給 原則年1回

3 賞与 年2回（支給時期：6月、12月、2023年度実績：4.45ヵ月分）

4 社会保険等 地方職員共済組合、雇用保険、地方公務員災害補償法適用、退職金制度（勤続1年以上）

勤務形態 原則として、夜勤を含む交代制勤務です。

日勤1 午前 8時30分から午後 5時15分まで

準夜勤 午後 5時15分から午前 2時00分まで

深夜勤 午前 2時00分から午前10時45分まで

日勤2 午前10時45分から午後 7時30分まで

夜勤 午後 5時00分から午前 9時30分まで（※許可宿直勤務対応）

日勤3 午前 9時30分から午後 6時15分まで

年次有給休暇・特別休暇・休業制度

年間20日（ただし、採用年は採用月により日数が減ぜられます。）の年次有給休暇や病気休暇、ボランティア休暇・結婚休暇・出産休暇・夏季休暇・家族看護等休暇などの特別休暇、育児・介護休業があります。

特設
動画
サイト



詳しく動画でご紹介しています

<https://www.akita-hos.or.jp/recruit/lp/>

お問い合わせ窓口

地方独立行政法人秋田県立病院機構

☎018-833-0115



<https://www.akita-hos.or.jp/>
info@akita-hos.or.jp

〒010-0874

秋田県秋田市千秋久保田町6番10号
秋田県立循環器・脳脊髄センター



アクセス

- ・ JR秋田駅より徒歩約7分
- ・ 秋田空港から秋田駅西口までリムジンバスで約40分

